

2023年3月期 第2四半期決算 説明資料

2022年10月31日
東日本旅客鉄道株式会社

連結決算

増収増益、3期ぶりの黒字転換

- コロナ影響の反動により全てのセグメントで増収となり、営業収益は2期連続の増収
- 第2四半期決算として、3期ぶりに全ての利益が黒字転換

セグメント

全てのセグメントが増収増益

- 運輸事業は、鉄道運輸収入の増に加え、Suicaに係る負債の収益計上時期を変更したことなどにより、**増収増益**
- 流通・サービス事業は、エキナカ店舗の売上が増加したことなどにより、**増収増益**
- 不動産・ホテル事業は、ホテルやショッピングセンターの売上が増加したことなどにより、**増収増益**
- その他は、クレジットカード事業の売上が増加したことなどにより、**増収増益**

○2023年3月期の業績予想

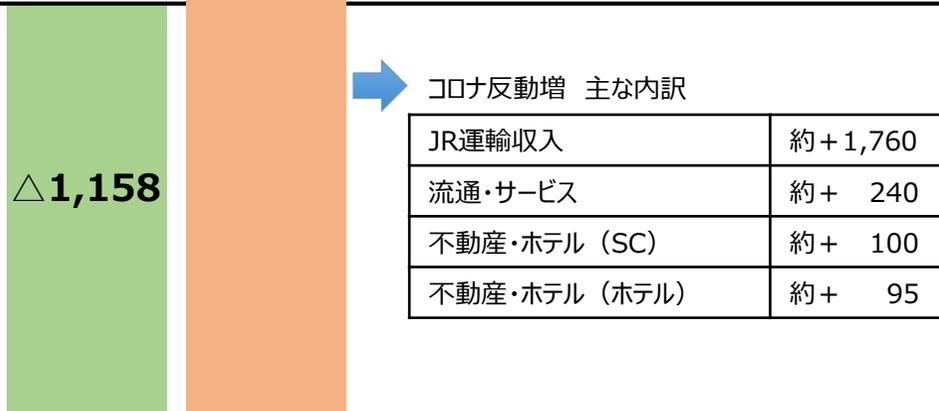
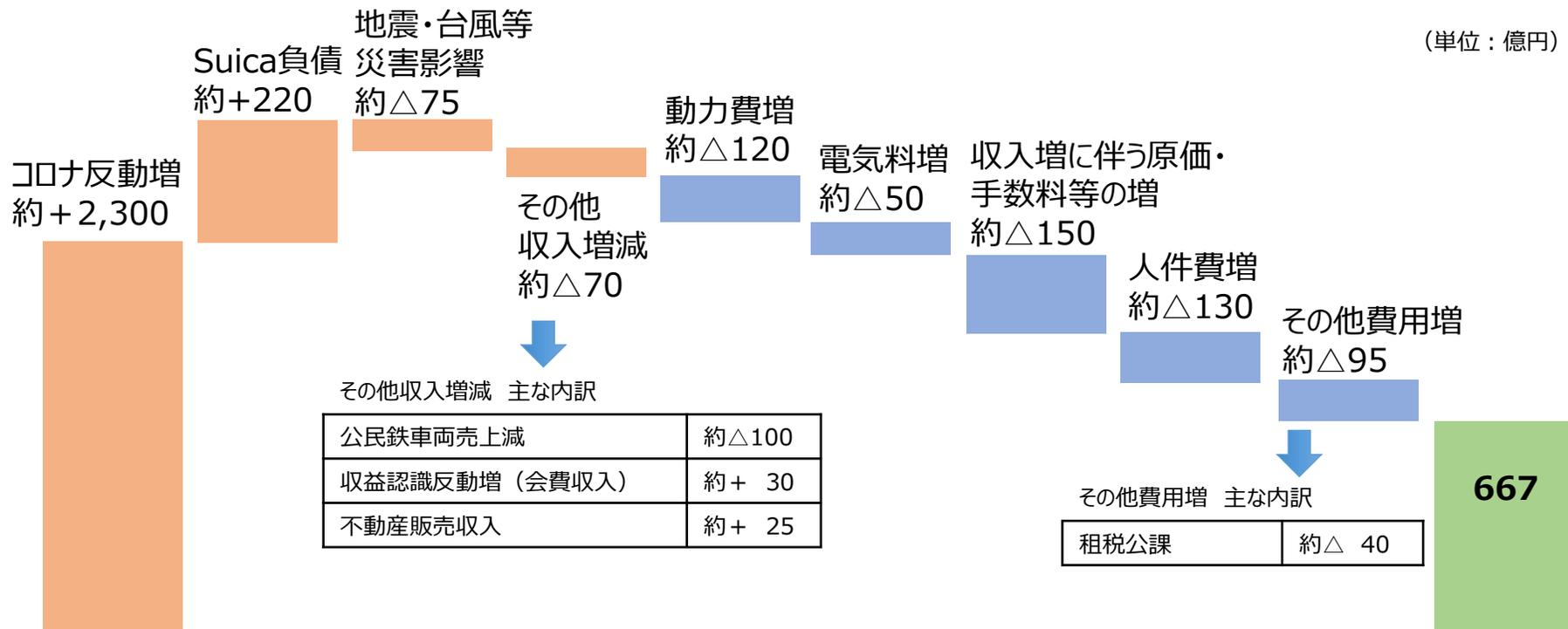
連結業績見通しについては、当第2四半期決算等を踏まえ検討した結果、2022年4月27日発表の通期の予想から変更いたしません。

○株主還元の状況（配当の状況）

2023年3月期 中間配当（1株当たり）50円 期末配当（1株当たり予想）50円

2023年3月期 第2四半期決算 連結営業損益増減

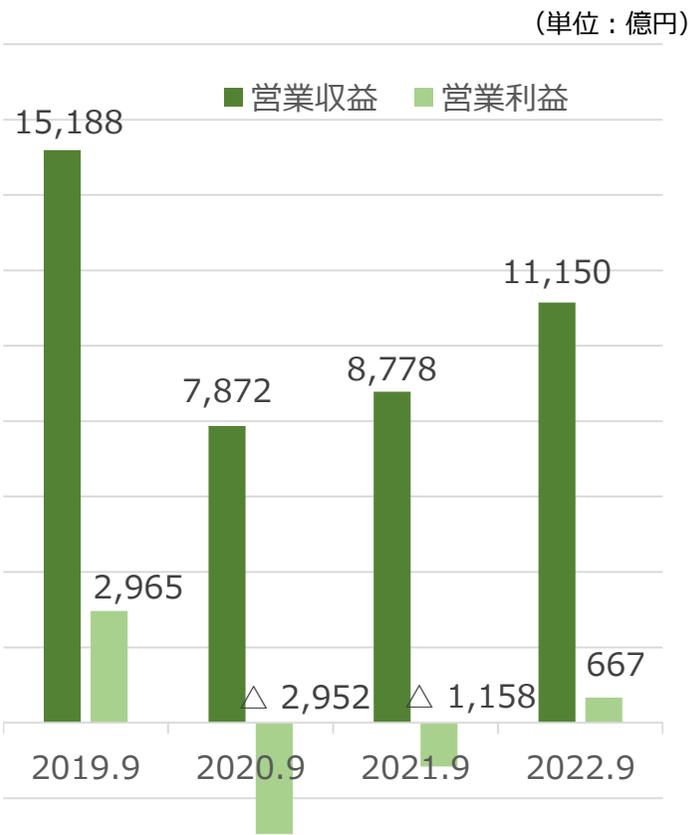
(単位：億円)



第2四半期累計業績推移

連結決算

コロナ影響を大きく受けた2020.9から段階的に回復し2期連続の増収、3期ぶりの黒字



運輸事業

鉄道利用の回復により2期連続の増収、3期ぶりの黒字

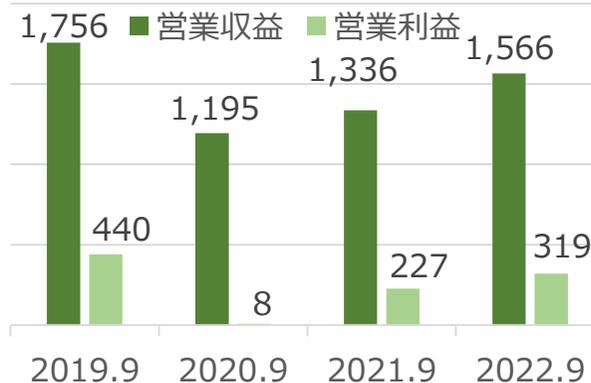
(単位：億円)



不動産・ホテル事業

ホテル、SCの利用の回復により2期連続の増収

(単位：億円)



流通・サービス事業

エキナカ利用の回復により増収

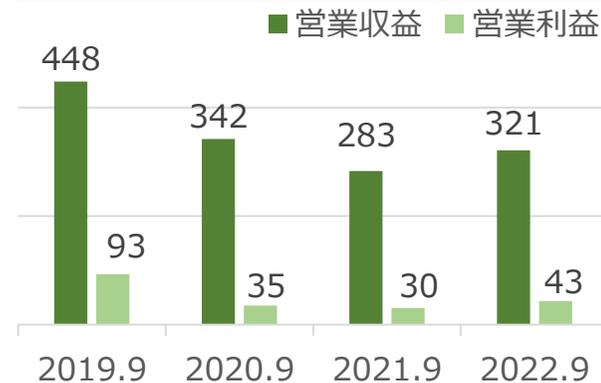
(単位：億円)



その他

クレジットカード利用の回復により増収

(単位：億円)



※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

※ 2021.9以降は収益認識会計基準適用

※ 2020.9以降はJR広告業のセグメントを運輸事業から流通・サービス事業に変更

鉄道運輸収入の実績と今後の見通し：コロナ前との比較

■ 定期収入

第2四半期実績（累計）：約77%

計画：コロナ前の約75%の水準で推移

■ 定期外収入

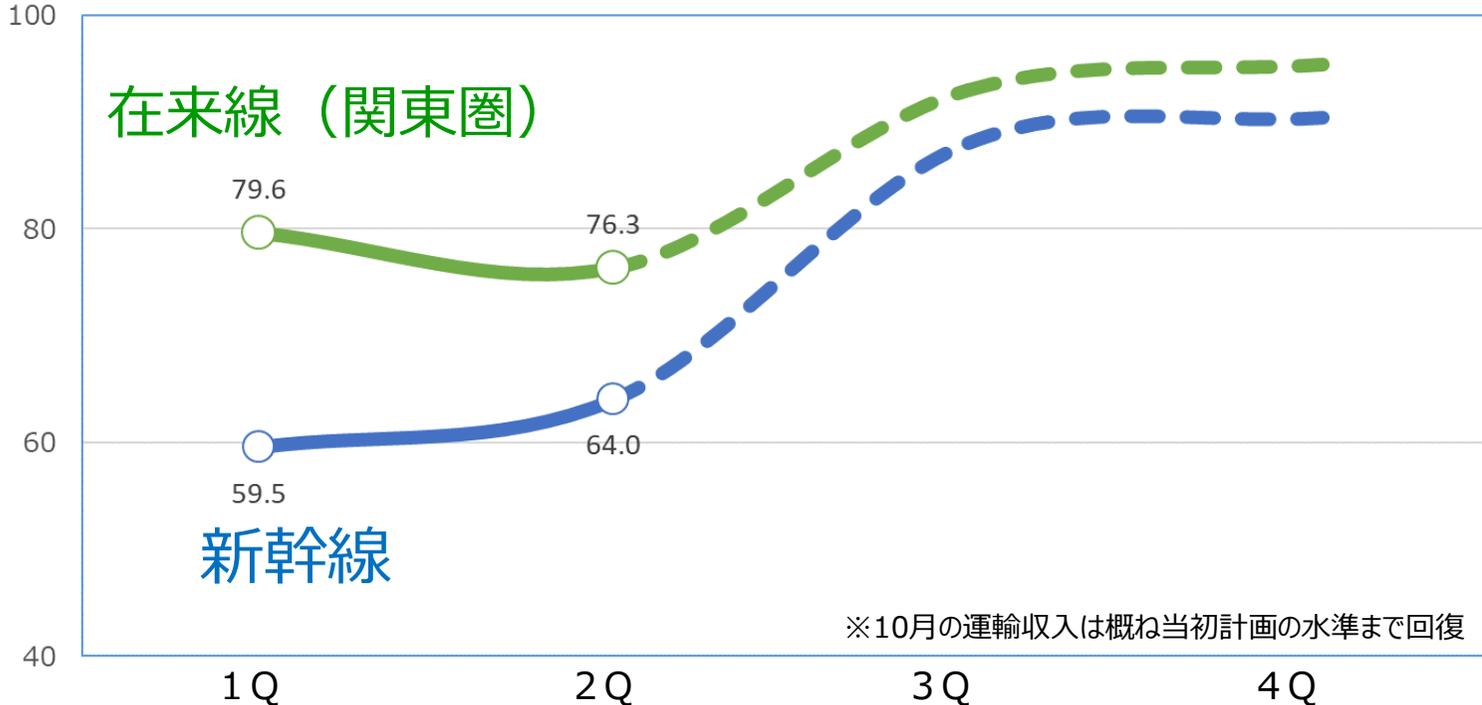
第2四半期実績（累計）：在来線（関東圏）約78% 新幹線 約62%

計画

在来線（関東圏）：2023年3月末時点で約95%の水準に到達する見通し

新幹線：2023年3月末時点で約90%の水準に到達する見通し

(単位:%) 2023年3月期



在来線（関東圏）
2023年3月末時点で約95%
の水準に到達する見通し

新幹線
2023年3月末時点で約90%
の水準に到達する見通し

※10月の運輸収入は概ね当初計画の水準まで回復

連結 損益計算書

(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9		主な増減事由
			増減	%	
営業収益	8,778	11,150	+2,372	127.0	
運輸	5,869	7,741	+1,872	131.9	鉄道運輸収入の増、Suica負債の収益計上時期変更
流通・サービス	1,289	1,521	+232	118.0	エキナカ店舗の売上の増
不動産・ホテル	1,336	1,566	+229	117.2	ホテルやショッピングセンターの売上の増
その他	283	321	+38	113.6	クレジットカード事業の売上の増
営業利益	△1,158	667	+1,826	-	
運輸	△1,439	173	+1,612	-	
流通・サービス	17	117	+99	655.8	
不動産・ホテル	227	319	+91	140.2	
その他	30	43	+13	142.2	
調整額	4	13	+9	318.6	
営業外損益	△203	△271	△67	133.0	持分法投資損益の減
営業外収益	161	89	△72	55.3	
営業外費用	365	360	△5	98.6	
経常利益	△1,362	395	+1,758	-	
特別損益	△8	△12	△4	157.3	
特別利益	56	210	+154	373.5	工事負担金等受入額の増
特別損失	64	223	+158	346.1	工事負担金等圧縮額の増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,452	271	+1,723	-	

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

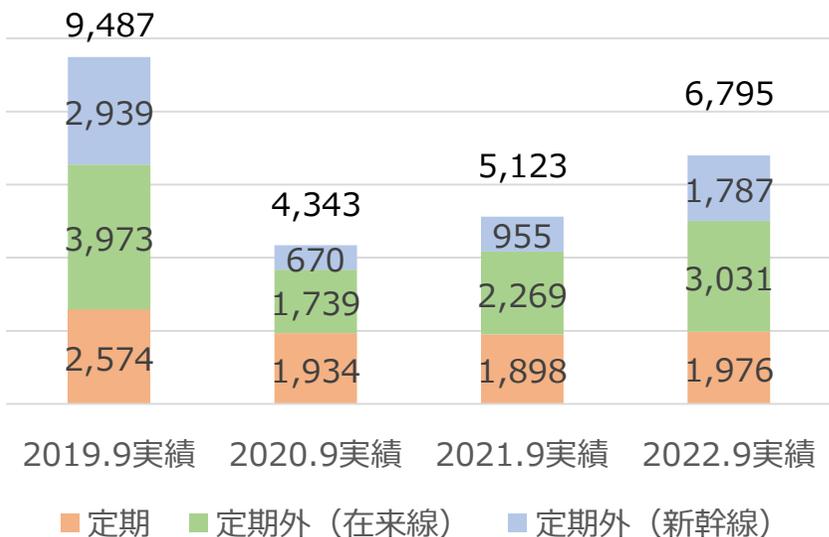
(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
			増減	%			増減	%
営業収益	5,869	7,741	+1,872	131.9	12,770	16,750	+3,979	131.2
営業利益	△1,439	173	+1,612	-	△2,853	100	+2,953	-

2022.9 営業収益（外部）の増減	
JR東日本（運輸）	+1,900
びゅうツーリズム&セールス	+28
東京モノレール	+13
総合車両製作所	△100

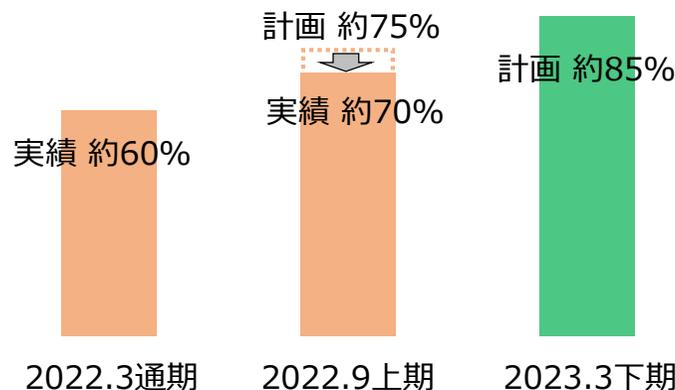
鉄道事業	鉄道回復により対前年で増収、運輸収入はコロナ前比で約70%の水準
車両製造事業	公民鉄向け車両売上の減により対前年で減収
バス事業	高速バス回復により対前年で増収、高速線収入はコロナ前比で約50%の水準
モノレール事業	利用回復により対前年で増収、運賃収入はコロナ前比で約55%の水準

■ 鉄道運輸収入 第2四半期実績

(単位：億円)



■ 鉄道運輸収入 コロナ前との比較



(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9	
			増減	%
営業収益	1,289	1,521	+232	118.0
営業利益	17	117	+99	655.8

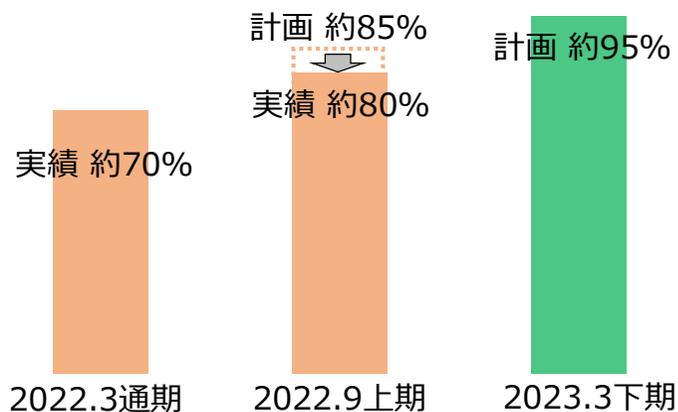
2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
		増減	%
2,781	3,530	+748	126.9
141	500	+358	354.2

2022.9 営業収益（外部）の増減	
JR東日本クロスステーション	+206
JR東日本東北総合サービス	+15
JR東日本スポーツ	+10
ジェイアール東日本企画	+3

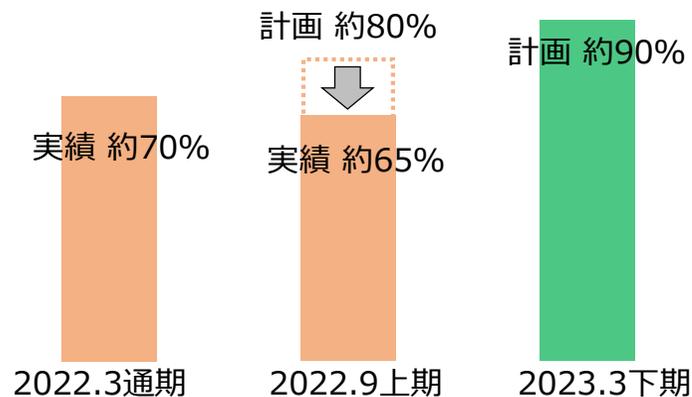
エキナカ事業	鉄道利用の回復に伴うエキナカ店舗の売上増により対前年で増収
広告事業	前年度までは減収傾向であったが、今年度は対前年で増収

■ 収入トレンド：コロナ前との比較

エキナカ事業



広告事業



不動産・ホテル事業

(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9	
			増減	%
営業収益	1,336	1,566	+229	117.2
営業利益	227	319	+91	140.2

2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
		増減	%
3,526	3,530	+3	100.1
1,078	800	△278	74.2

2022.9 営業収益（外部）の増減	
日本ホテル	+72
ルミネ	+55
ジェイアール東日本 都市開発	+31
JR東日本ビルディング	△10

ショッピング センター事業	駅ビルの売上が増加したことにより対前年 で増収
オフィス事業	一部テナント変更により対前年で減収
ホテル事業	ホテル利用増により対前年で増収 参考：ホテル事業実績※（2022.9） 営業収益 242億円、営業利益 △24億円

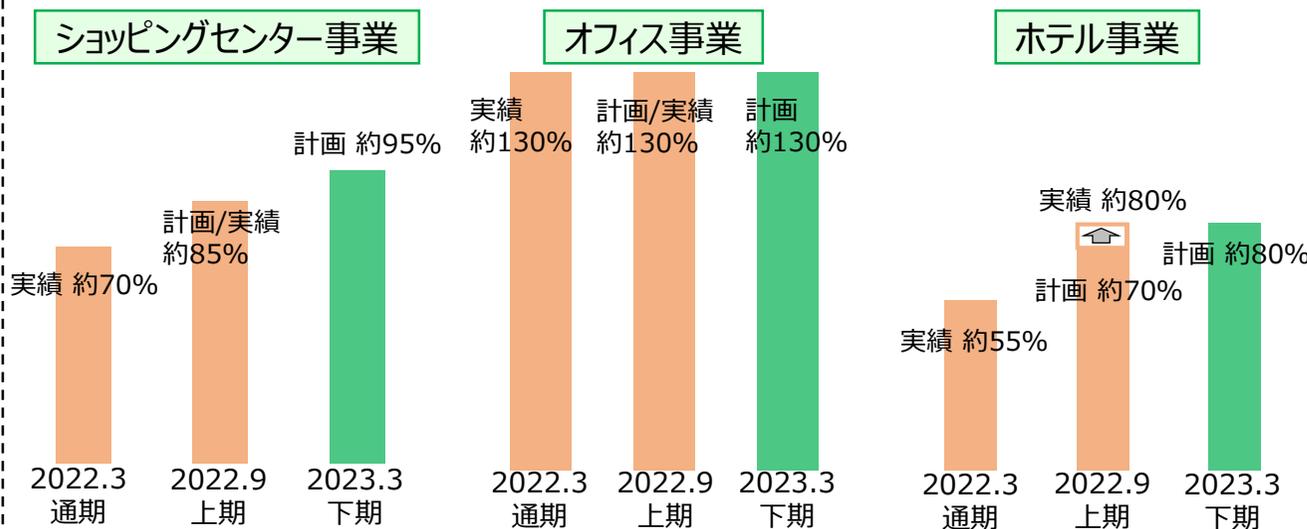
※各社のホテル事業の単純合計

ホテルチェーン別実績

■ Metropolitan Hotels
■ JR東日本ホテルメッツ



収入トレンド：コロナ前との比較



(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
			増減	%			増減	%
営業収益	283	321	+38	113.6	710	720	+9	101.3
営業利益	30	43	+13	142.2	116	150	+33	128.8

2022.9 営業収益（外部）の増減	
ビューカード	+25
JR東日本メカトロニクス	+17

IT・Suica事業	クレジット：カード取扱高の増により加盟店手数料収入が対前年で増収 電子マネー：電子マネー決済件数の増により加盟店手数料収入が対前年で増収 ICカード関連：決済端末の販売増により対前年で増収
その他 (情報システム関連)	システム受託収入の増により対前年で増収

(参考) IT・Suica事業の実績 (2022.9)

営業収益	227億円
営業利益	45億円

■収入トレンド：コロナ前との比較

クレジットカード事業

通年でコロナ前と同程度で推移する見通し

Suica電子マネー利用（件数）

通年でコロナ前の約130%程度で推移する見通し

連結 貸借対照表

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.9 実績	2022.9/2022.3		主な増減事由
			増減	%	
資産	90,914	90,990	+76	100.1	
流動資産	9,070	9,621	+551	106.1	
固定資産	81,844	81,368	△475	99.4	
負債	66,733	66,699	△33	99.9	
流動負債	16,885	14,323	△2,561	84.8	未払金の減
固定負債	49,847	52,375	+2,528	105.1	社債の増
純資産合計	24,181	24,291	+109	100.5	
負債・純資産合計	90,914	90,990	+76	100.1	

連結 キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△498	1,283	+1,782
(主な内訳)			
税金等調整前四半期純利益	△1,370	383	+1,754
減価償却費	1,918	1,918	+0
売上債権・仕入債務の増減額	△1,042	△769	+272
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,929	△2,249	+680
(主な内訳)			
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,141	△2,443	+697
有形及び無形固定資産の売却による収入	24	8	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,265	1,259	△2,006
(主な内訳)			
短期借入金、コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△2,250	△907	+1,342
長期借入、社債の発行による収入	7,024	3,829	△3,194
長期借入金の返済、社債の償還による支出	△1,248	△1,410	△161
配当金の支払額	△188	△188	+0
現金及び現金同等物の期首残高	1,979	1,710	△269
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,819	2,014	+195
フリー・キャッシュ・フロー	△3,428	△965	+2,462

連結 有利子負債、設備投資額

連結有利子負債

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.9 実績	2022.9/2022.3		平均金利（対2022.3）	
			増減	%		
有利子負債残高	47,037	48,530	+1,493	103.2	1.30%	(△0.01%)
社債	25,426	28,016	+2,589	110.2	1.09%	(△0.05%)
長期借入金	14,514	14,344	△170	98.8	0.82%	(△0.00%)
鉄道施設購入長期未払金	3,188	3,169	△18	99.4	6.54%	(+0.00%)
その他有利子負債	3,907	3,000	△907	76.8	△0.00%	(△0.00%)
ネット有利子負債残高	45,327	46,515	+1,188	102.6		

連結設備投資額

(単位：億円)	セグメント区分	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9		2023.3 計画	2023.3/2022.3	
				増減	%		増減	%
輸送サービス	運輸事業	1,069	1,022	△46	95.6	4,220	+693	119.7
生活サービス IT・Suicaサービス	流通・サービス事業 不動産・ホテル事業、その他	783	600	△183	76.6	2,120	+446	126.7
合計		1,853	1,622	△230	87.6	6,340	+1,139	121.9

連結 通期計画

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		対2022.3実績 主な増減要素
			増減	%	
営業収益	19,789	24,530	+4,740	124.0	
運輸	12,770	16,750	+3,979	131.2	[+]鉄道運輸収入
流通・サービス	2,781	3,530	+748	126.9	[+]広告事業、[+]エキナカ事業
不動産・ホテル	3,526	3,530	+3	100.1	[+]ショッピングセンター事業、[+]ホテル事業
その他	710	720	+9	101.3	[+]Suica電子マネー収入
営業利益	△1,539	1,530	+3,069	-	
運輸	△2,853	100	+2,953	-	
流通・サービス	141	500	+358	354.2	
不動産・ホテル	1,078	800	△278	74.2	[△]不動産販売事業
その他	116	150	+33	128.8	
営業外損益	△255	△550	△294	215.2	
営業外収益	442				
営業外費用	698				
経常利益	△1,795	980	+2,775	-	
特別損益	△10	△100	△89	999.3	
特別利益	641				
特別損失	651				
親会社株主に帰属する 当期純利益	△949	600	+1,549	-	

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

参考

単体 損益計算書

(単位：億円)	2021.9 実績	2022.9 実績	2022.9/2021.9		主な増減事由
			増減	%	
営業収益	6,256	8,202	+1,946	131.1	
運輸収入	5,124	6,795	+1,671	132.6	
その他の収入	1,132	1,407	+275	124.3	Suicaに係る負債の収益計上時期変更による増
営業費用	7,299	7,655	+356	104.9	
人件費	1,822	1,912	+90	105.0	賞与関係の増
物件費	2,903	3,157	+253	108.7	
動力費	240	355	+114	147.6	燃料単価高騰による増
修繕費	999	995	△4	99.6	
その他	1,663	1,806	+143	108.6	部外委託関係の増
機構借損料等	423	421	△2	99.5	
租税公課	539	576	+37	106.9	
減価償却費	1,610	1,588	△22	98.6	
営業利益	△1,043	546	+1,589	-	
営業外損益	△82	△190	△107	230.3	受取配当金の減
経常利益	△1,125	356	+1,481	-	
特別損益	△5	△2	+3	43.0	
四半期純利益	△1,203	301	+1,505	-	

単体 貸借対照表

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.9 実績	2022.9/2022.3		主な増減事由
			増減	%	
資産	83,349	83,176	△173	99.8	
流動資産	6,698	7,136	+437	106.5	
固定資産	76,651	76,040	△611	99.2	
負債	64,628	64,332	△295	99.5	
流動負債	16,375	13,569	△2,805	82.9	未払金の減
固定負債	48,252	50,762	+2,510	105.2	社債の増
純資産合計	18,721	18,843	+121	100.7	
負債・純資産合計	83,349	83,176	△173	99.8	

旅客輸送量・鉄道運輸収入 実績

	旅客輸送量 (百万人キロ)			鉄道運輸収入 (億円)					
	2021.9 実績	2022.9 実績	対前年 %	2021.9 実績	2022.9 実績	対前年		主な増減事由	
						増減	%		
新幹線		4,300	7,330	170.4	1,057	1,893	+836	179.1	
	定期	747	785	105.1	101	106	+4	104.9	
	定期外	3,553	6,544	184.2	955	1,787	+831	187.0	・新型コロナウイルス影響からの回復：+890 ・グリーン料金改定：+10 ・天候災害（2022年福島県沖地震）：△60 ・収益認識基準影響：△5
在来線		39,692	45,151	113.8	4,066	4,901	+834	120.5	
	定期	27,848	29,197	104.8	1,797	1,869	+72	104.0	
	定期外	11,843	15,953	134.7	2,269	3,031	+762	133.6	
在来線 関東圏	(再掲)	37,704	42,811	113.5	3,868	4,639	+771	119.9	
	定期	26,471	27,797	105.0	1,715	1,786	+71	104.2	
	定期外	11,232	15,013	133.7	2,153	2,853	+699	132.5	・新型コロナウイルス影響からの回復：+720 ・天候災害（台風）：△15 ・収益認識基準影響：△5
在来線 その他	(再掲)	1,988	2,339	117.7	197	261	+63	132.1	
	定期	1,377	1,399	101.6	81	82	+1	101.3	
	定期外	610	939	153.9	116	178	+62	153.8	・新型コロナウイルス影響からの回復：+60
合計		43,992	52,481	119.3	5,123	6,795	+1,671	132.6	
	定期	28,596	29,983	104.9	1,898	1,976	+77	104.1	・新型コロナウイルス影響からの回復：+85 ・収益認識基準影響：△10
	定期外	15,396	22,498	146.1	3,224	4,818	+1,593	149.4	

※ 「関東圏」とは、当社首都圏本部（旧東京支社）、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲

単体 通期計画

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		対2022.3実績 主な増減要素
			増減	%	
営業収益	14,241	17,940	+3,698	126.0	
運輸収入	11,132	14,910	+3,777	133.9	
その他の収入	3,109	3,030	△79	97.5	[△]不動産販売収入
営業費用	15,737	16,940	+1,202	107.6	
人件費	3,693	3,860	+166	104.5	[+]賞与戻入差
物件費	6,913	7,810	+896	113.0	
動力費	614	740	+125	120.5	[+]燃料単価増
修繕費	2,454	2,670	+215	108.8	[+]一般修繕費、[+]車両修繕費
その他	3,844	4,400	+555	114.5	[+]情報処理費、[+]収入連動経費
機構借損料等	847	850	+2	100.3	
租税公課	988	1,070	+81	108.2	
減価償却費	3,294	3,350	+55	101.7	[+]資産取得による増
営業利益	△1,495	1,000	+2,495	-	
営業外損益	△281	△490	△208	174.2	
経常利益	△1,777	510	+2,287	-	
特別損益	△160	20	+180	-	
当期純利益	△991	410	+1,401	-	

旅客輸送量・鉄道運輸収入 計画

	旅客輸送量 (百万人キロ)			鉄道運輸収入 (億円)					
	2022.3 実績	2023.3 計画	対前年 %	2022.3 実績	2023.3 計画	対前年		主な増減要素	
						増減	%		
新幹線		10,384	18,262	175.9	2,580	4,607	+2,026	178.5	
	定期	1,473	1,507	102.3	202	202	△0	100.0	
	定期外	8,910	16,754	188.0	2,378	4,404	+2,026	185.2	・新型コロナウイルス影響からの回復：+2,025 ・グリーン料金改定：+15 ・天候災害（2022年福島県沖地震）：△10 ・収益認識基準影響：△5
在来線		80,866	90,726	112.2	8,551	10,302	+1,751	120.5	
	定期	54,705	55,567	101.6	3,577	3,575	△1	100.0	
	定期外	26,160	35,158	134.4	4,974	6,727	+1,753	135.2	
在来線 関東圏	(再掲)	76,783	85,893	111.9	8,120	9,729	+1,608	119.8	
	定期	52,049	52,871	101.6	3,417	3,415	△1	100.0	
	定期外	24,733	33,022	133.5	4,703	6,313	+1,609	134.2	・新型コロナウイルス影響からの回復：+1,615 ・グリーン料金改定：+5 ・収益認識基準影響：△10
在来線 その他	(再掲)	4,083	4,832	118.3	430	573	+143	133.3	
	定期	2,655	2,696	101.5	160	160	△0	100.0	
	定期外	1,427	2,136	149.7	270	413	+143	153.1	・新型コロナウイルス影響からの回復：+150 ・収益認識基準影響：△5
合計		91,250	108,988	119.4	11,132	14,910	+3,778	133.9	
	定期	56,179	57,074	101.6	3,780	3,778	△1	100.0	・収益認識基準影響：△15 ・新型コロナウイルス影響からの回復：+15
	定期外	35,071	51,913	148.0	7,352	11,131	+3,779	151.4	

※ 「関東圏」とは、当社首都圏本部（旧東京支社）、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲

2026年3月期 数値目標

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2026.3 数値目標	2026.3/2022.3	
				増減	%
営業収益	19,789	24,530	30,900	+11,110	156.1
運輸	12,770	16,750	19,700	+6,929	154.3
流通・サービス	2,781	3,530	5,500	+2,718	197.7
不動産・ホテル	3,526	3,530	4,800	+1,273	136.1
その他	710	720	900	+189	126.6
営業利益	△1,539	1,530	4,500	+6,039	-
運輸	△2,853	100	2,520	+5,373	-
流通・サービス	141	500	570	+428	403.8
不動産・ホテル	1,078	800	1,130	+51	104.8
その他	116	150	300	+183	257.7
調整額	△21	△20	△20	+1	92.7

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

	2022.3 実績	2026.3 数値目標
営業キャッシュ・フロー	1,905億円	5年間（2022.3～2026.3）総額 36,930億円
総資産営業利益率（ROA）	△1.7%	4.5%程度
ネット有利子負債／EBITDA	19.0倍	5倍以下